

○第138回遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：平成27年6月17日（水）14：00～16：49

議事概要：

（1）Aspergillus oryzae NZYM-SP 株を利用して生産されたアスパラギナーゼ

・審議の結果、評価書（案）を食品安全委員会へ報告することとなった。

* アクリルアミド生成の起因となるアスパラギンをアスパラギン酸とアンモニアに加水分解する酵素であり、食品加工の際のアクリルアミドの生成を低減する加工助剤として利用されます。

（2）NZYM-R0 株を利用して生産された6- α -グルカノトランスフェラーゼ

・審議の結果、一部修正の上、評価書（案）を食品安全委員会へ報告することとなった。

* 酵素として使用される食品添加物です。

（3）除草剤グリホサート耐性トウモロコシ Event VC0-01981-5（食品・飼料）

・継続審議となった。

* 除草剤グリホサートに対する耐性を持つトウモロコシです。